

小学校での授業構想

学習のねらい

○学校のまわりの様子を観察し、調べたことを絵地図や平面地図に表現し、場所による様子の違いや特色を具体的に考える。

地図活用のねらい

○学校のまわりを調べて、絵地図や白地図に表す学習を通して地図に親しむ。
○地図のきまりや基礎的な要素である主な地図記号や四方位（八方位）を理解し活用する。

| 学習活動 | 地図活用上の留意点等 |
|--|--|
| <p>第1次</p> <p>◆第1時（学習資料①参照） 「航空写真や市内各地（施設）の写真を観察して、問題意識を高める」 ・行ったこと がある場所 ・特徴的な建物</p> <p>◆第2時（学習資料②参照） 「学校の屋上から、学校のまわりの様子を観察したり、自分の家を探したりする」 ・自分の家、通学路 ・目立つ建物 ・土地利用の様子 ・交通の様子</p> <p>◆第3時 「探検の計画を立てる」 ・何を観察するのか ・コースについて ・観察の仕方やまとめ方を話し合う</p> <p>第2次</p> <p>◆第4～7時（学習資料③参照） 「学校のまわりを探検し、絵地図にまとめる」 ・4コース（東西南北）の探検（4回実施）</p> <p>◆第8時（学習資料④参照） 「自分の絵地図を完成させる」</p> <p>第3次</p> <p>◆第9時（学習資料⑤参照） 「作った絵地図を比べて話し合う。」 ・相違点 ・困った点</p> <p>◆第10～11時（学習資料⑥参照） 「地図記号を使い、平面地図をつくる」 ・みんながわかる地図の条件 ・地図記号を使った地図作り</p> <p>◆第12時 「完成した地図を見て、地域の特色について話し合う」 ・学校のまわりの地形 ・土地の使われ方 ・公共 施設の分布 ・交通の様子</p> | <p>○航空写真を活用する。 ○白地図と航空写真を比べながら、観察させる。</p> <p>○四方位(八方位)を指導する ○土地利用の様子に着目させる。 ○土地利用の様子や土地の高低などは広がりでもとらえるように指導する</p> <p>○調査の観点を明確にして、計画を立てる。 ○学校のまわりの東西南北が観察できるようにする。</p> <p>○観察計画を見て、観察内容や方法を確認する。 ○白地図は、2,500分の1の地図をもとに教師が作成する。その際に大まかな目印を入れておく。 ○白地図への表現方法は、子どもの発想を生かす。 ○作成した地図をもに話し合う中で、人によって描き表し方が違うことに着目し、地図記号や地図のきまりに目を向かせる。 ○地域により実際にある事物が違うので、扱う地図記号は異なるが、次の地図記号は指導しておきたい。(学校、市役所や公民館等の公共施設、警察署や交番・消防署、工場、田畑、森林、市街化された地域を表す記号) ○地形、土地利用、集落、交通の様子を読み、学校のまわりの特色をつかむ。</p> |

中学校での授業構想

学習のねらい

- 直接経験地域の地理的事象が学習対象として、観察や調査などの活動を通して、身近な地域に対する理解と関心を深める。
- 市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付ける。

地図活用のねらい

- 地図をもって現地に行き、地図と現地との対応関係を学んだり、地図から関心のある地理的事象を発見したり、地図から地域的特色をとらえる。
- 読図に関する技能を高めたり、観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高める。

| 学習活動 | 地図活用上の留意点 |
|--|--|
| <p>第1次 地図・統計等の資料を通して地域を見直し、新たな課題を見いださせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第1時 「自宅までの地図」 ◆第2時 「学区域及びその付近の変容と特色」 (授業プリント参照) ◆第3時 「土地利用図の作成」 <p>第2次 調査の内容や方法を検討し、野外調査を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第4時 「野外調査1 ～調査課題を設定しよう～」 ◆第5時 「野外調査2 ～調査の内容や方法を考えよう～」 ◆第6時 「野外観察3 ～まちへ出て調べよう～」 <p>第3次 発想を生かし、表現させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第7時 「ガイドマップ作成 ～久喜市を紹介しよう～」 <p>第4段階 調査の結果を整理し、発表させる段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第8時 「地域性の再発見2 ～発表により地域を見直そう～」 | <ul style="list-style-type: none"> ○平面地図を作成し、地形図と比較する。 ○新旧の地形図や景観写真などを比較する。 ○地形図の表現について学ぶ。 (縮尺・地図 記号・十六方位・土地利用・標高・等高線など) ○土地利用の様子を理解するために、土地利用図を作成する。 ○地形図から疑問を見つけ出す。 ○地形図と現地の対応関係を学ぶために、野外観察をする。 ○久喜市を紹介するガイドマップなどを作成する。 ○久喜市の特徴を地図・カット・絵・キャッチフレーズなどで表現する。 ○久喜市の特徴を再発見し、ガイドマップに追記する。 |

高等学校での授業構想

| |
|--|
| 学習のねらい |
| <ul style="list-style-type: none"> ○直接的に調査できる地域の特色を、地形図などの諸資料を活用することによって、多面的・多角的に調査して、地域性を地誌的にとらえる方法を身に付ける。 ○直接的に調査できる地域と同程度の規模の都市とを比較分析することを通じて、相対的に地域性をとらえる方法を身に付ける。 |

| |
|---|
| 地図活用のねらい |
| <ul style="list-style-type: none"> ○同じ地域について、縮尺の異なる地図で表現方法を比較することで、縮尺により用途が異なることを理解させる。 ○地形図を活用した作業を通じて、読図に関する技能を高める。 ○地形図で表現された地形や土地利用の特性が視覚的なイメージでとらえられるようにする。 |

| 学習活動 | 地図活用上の留意点 |
|---|---|
| <p>第1次 地図は縮尺が異なることにより、表現できることや読み取れる内容が異なることを知る</p> <p>◆第1時（授業プリント参照） 「国土地理院発行の縮尺の異なる各種地図の特色」</p> <p>◆第2時（授業プリント参照） 「学校周辺市町村の断面図の作成」</p> <p>◆第3時 「学校周辺市町村の現地調査」</p> <p>第2次 台地上に立地する所沢市と同程度の規模で、地形的に異なる（低地など）の都市と、比較分析することを通じて所沢市を相対的に知る</p> <p>◆第4～5時 「所沢市と同規模で、地形の異なる都市の研究1」</p> <p>◆第6～7時 「所沢市と同規模で、地形の異なる都市の研究2」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学校を中心とした2 km 四方の地図を縮尺ごとに比較し、縮尺の違いにより地図表記も異なることに気づき、目的・用途が異なることも理解する。 ○等高線を読み取って断面図を作成し、学校周辺市町村周辺の丘陵地形・台地地形と、地図記号から土地利用の特性を理解する。 ○平野や丘陵の視覚的なイメージと地形図を関連させて理解する。 ○断面図で表現された特徴的な地点（台地と低地の境界等）を現地調査し、洪積台地と沖積平野を視覚的に比較させ、違いを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ○断面図や各種統計を活用して、所沢市と同規模で、地形的に異なる都市を見つける。 ○仮説を立てさせてから、様々な統計を活用して、2つの都市を比較しながら、都市化の進展にどのような差異があるかを分析する。 ○様々な統計や新旧2種類の地形図を比較させる等の作業を通じて、2つの都市について地形や産業など多面的な視点で地域性をとらえ、仮説に対しての結論をまとめる。 ○各自の研究を発表しあい、調査地域についての理解を深める。 |